

玉井康之 研究業績一覧

1. 著書(玉井単著書)

番	著者	書名・刊行物名	発行所	発表年	執筆頁	備考
1	玉井康之	『北海道の学校と地域社会-農村小規模校の学校開放と地域教育構造-』	東洋館出版社	1996年2月1日	全215頁 (1-215頁)	
2	玉井康之	『現代アラスカの学校改革-開かれた学校づくりと生涯学習』	高文堂出版社	1997年10月10日	全142頁 (1-142頁)	
3	玉井康之	『地域に学ぶ「総合的な学習」-学社融合時代の学校・行政の役割-』	東洋館出版社	2000年7月25日	全150頁 (1-150頁)	
4	玉井康之	『学校評価時代の地域学校運営-パートナーシップを高める実践方策』	教育開発研究所	2008年10月10日	全222頁 (1-222頁)	

2. 著書(玉井編著書・共編著書)

番	編者	書名・刊行物名	著者 (玉井分担)	執筆論文箇所	発行所	発表年	執筆頁	備考
1	川前あゆみ・玉井康之著	『山村留学と学校・地域づくり-都市と農村の交流にまなぶ-』	玉井康之	「はじめに」 第2章「体験学習内容の類型および教育効果と山村留学」 「生涯学習社会における山村留学の役割とへき地教育」 「おわりに」	高文堂出版社	1998年11月10日	3-4頁、 32-46頁、 180-207頁、 216-217頁	
2	松浦義満監修、	『地域を生かせ! 総	玉井康之	「遠隔地小規模学校の地域特性を生か	東洋館出版	2000年7	32-47頁	

	野中陽一・船越勝・玉井康之編著	合的な学習の展開』		した『総合的な学習』	社	月 15 日		
3	玉井正明・玉井康之著	『少年の凶悪犯罪・問題行動はなぜ起きるのか-事件から学ぶ学校・家庭・地域の役割とネットワークづくり』	玉井康之	全巻共著	ぎょうせい	2002年4月10日	全巻共著 1-232頁	
4	玉井康之編著	教職研修総合特集『新教育課程先進事例集 学校・地域・家庭連携事例集』	玉井康之	「まえがき」 「基本的視点」 「地域・家庭と連携した指導内容の充実-実践を読んで」	教育開発研究所	2002年7月1日	1-2頁 8-13頁 44-50頁	
5	手島勇平・坂口眞生・玉井康之編著	『学校という”まち”が創る学び-教科センター方式を核にした聖籠中学校の挑戦』	玉井康之	序章「現代日本の教育改革と聖籠中学校改革の構造」 第3章「情報交流と相互補完を促進する学校経営改革の挑戦」 第5章「生徒の居場所と社会性を高める学級経営改革の挑戦」 第6章「誇りと自己統制力を育む生徒指導改革の挑戦」 終章「学校という”まち”が創る学びと聖籠中学校の挑戦」 座談会「学校という”まち”が創る学びを目指して」 「おわりに」	ぎょうせい	2003年11月1日	1-16頁 63-82頁 107-124頁 125-148頁 165-180頁 181-194頁 209-211頁	

							頁	
6	川前あゆみ・玉井康之著	『山村留学と子ども・学校・地域-自然がもたらす生きる力の育成』	玉井康之	「はじめに」 第一章「山村留学に見られる体験学習の基本類型と教育効果」 「おわりに」	高文堂出版社	2005年1月30日	3～6頁 36～56頁 166～169頁	
7	玉井康之編著	『子どもと地域の未来をひらくへき地・小規模校教育の可能性』	玉井康之	「はじめに」 序章「へき地・小規模校の教育研究の課題と現代的な可能性」 第1章「現代におけるへき地・小規模校教育の特性と'へき地'のパラダイム転換の可能性」 第2章「へき地・小規模校経営の特性と学校・地域協働運営の可能性」 第3章「義務教育費国庫負担制度の廃止問題とへき地・小規模校の果たす多面的役割」 第4章「へき地・小規模校の地域性・小規模生を生かした総合的な学習の可能性」 終章「地域性・小規模性を活かしたへき地・小規模校教育の可能性」	教育新聞社	2006年4月5日	1～3頁 10～21頁 22～31頁 32～45頁 46～61頁 62～73頁 134～141頁	

3. 著書(共著書・分担執筆)

番	著者	執筆論文箇所	編者	書名・刊行物名	発行所	発表年	ページ	備考
1	玉井康之	「再編集落の運営と技術の高位平準化」(第3章3節)	北海道農業研究会編	『経済構造調整下の北海道農業』	北海道大学図書刊行会	1991年1月25日	150～161頁	
2	玉井康之	「農村地域社会における情報活動と農民の相互学習」	山田定市・鈴木敏正編	『地域づくりと自己教育活動ー生涯学習の計画化・上ー』、	筑波書房	1992年3月31日	182～201頁	
3	玉井康之	「子どもの生活課題と学校外教育ー学校との連携による生涯教育の基礎形成」	日本社会教育学会年報編集委員会	『生涯学習体系化と社会教育』、	東洋館出版社	1992年10月15日	60～68頁	
4	玉井康之	「『地域素材の教材化』の展開と条件」	奥山洌編	『創る 発達と教育』、	川島書店	1993年4月1日	107～126頁	
5	玉井康之	「へき地学校と地域的福祉」	神田・橋本・朝岡・玉井著	『教育と福祉』、	高文堂出版社	1993年2月5日	145～193頁	
6	玉井康之	「情報化社会と子どもの教育環境ーテレビ・ファミコンを中心としてー」	北海道教育大学教科教育学研究図書編集委員会編	『子どもと環境』	東京書籍	1994年3月30日	72～86頁	
7	玉井康之	「技術指導の方法と住民態度の変容の仕方」(5章2節)、 「農村校区のもつ意義と基礎的生活圏」(5章3節)、 「畑作地帯における集落再編の取り組みと成果」(7章1節)、 「酪農地帯における集落再編の取り組みと成果」(7章2節)	長谷山俊郎編	『北の国型村落の形成ー定住化に向けた環境整備ー』	農林統計協会	1995年8月8日	104～109頁、 110～114頁、 139～151頁、 152～162頁	
8	玉井康之	「集落における営農情報への対応」	教育学論説資	『教育学論説資料』第10巻2	論説資料保存	1995年9	800～805頁	

		過程と学習内容の編成」	料編集委員会		会	月1日		
9	玉井康之	『『地域と教育』研究における北海道の僻地教育研究の役割-都府県との比較による問題提起』	教育学論説資料編集委員会	『教育学論説資料』第11巻2	論説資料保存会	1996年9月1日	775-781頁	
10	玉井康之	「学校を含めた生涯学習の推進と地域づくり-生涯教育推進協議会の教育効果と学校開放の役割-」	山田定市編	『地域づくりと生涯学習の計画化』	北大図書刊行会	1997年2月25日	336-349頁	
11	玉井康之	「子どもの学習のつまずきと学級づくり・生活指導-潜在的カリキュラム・相互学習・生活改善を媒介にして-」	北海道教育大学教科教育学研究図書編集委員会編	『子どもの学びとつまずき』、	東京書籍	1997年3月30日	29-41頁	
12	玉井康之	「コミュニティ再編と地域農業の変革」	臼井晋編著	『市場再編と農村コミュニティ-地域変革の課題と展望-』	高文堂出版社	1997年5月1日	83-97頁	
13	玉井康之	「学社連携の現段階と生涯学習の課題」	神田嘉延・遠藤智恵子・宮崎隆志編	『生涯学習を組織するもの』	北樹出版	1997年10月10日	155-173頁	
14	玉井康之	「学校を基盤とする地域づくり活動」	大前哲彦・千葉悦子・鈴木敏正編	『地域住民と共に-社会教育実践論』	北樹出版	1998年2月20日	155-166頁	
15	玉井康之	「インターネットによる図書検索の教育的可能性と読書推進活動の課題」	北海道教育大学教科教育学研究図書編集委員会編	『子どもとメディア-情報化社会の教科教育』	東京書籍、	1998年3月30日	168-180頁	
16	玉井康之	「学校訪問・体験学習の意義と類型」、 「小学生との合同キャンプを通じた野外体験活動」、	北海道教育大学釧路校教師教育研究会編	『教師の体験活動』	東洋館出版社	1998年10月16日	20-30頁、 43-45頁、 90-91頁、 102-105頁	

		「料理づくりを通じた地域文化体験」、 「ボランティア・社会体験学習」102～105頁、 「あとがき」の各個所を執筆					189～191頁	
17	玉井康之	「中山間地域の活性化と教育の役割」	田畑保編著	『中山間の定住条件と地域政策』	日本経済評論社	1999年4月20日	155～172頁	
18	玉井康之	「地域と連携した学校教育課程の再編と学社融合の必要性」	北海道教育大学教科教育学研究図書編集委員会編	『子どもと地域』	東京書籍	1999年3月30日	6～23頁	
19	玉井康之	「地域の福祉施設等の活用」	有園格・小島宏編	『学校の創意工夫を生かす「総合的な学習」の展開 国際理解、福祉・健康の展開』	ぎょうせい	1999年4月10日	185～197頁	
20	玉井康之	「『地域に根ざした教育』の持つ可能性- 学校・家庭・地域連携による総合的な人格発達の可能性-」	葉養正明編	『学校と地域のきずな-地域教育をひらく-』	教育出版社	1999年8月5日	71～93頁	
21	玉井康之	「地域創造における学校と公民館の連携」、(第6章第5節)	日本社会教育学会編	『現代公民館の創造』	東洋館出版社	1999年9月1日	315～319頁	
22	玉井康之	「『総合的な学習の時間』に果たす地方教育行政・学校運営の役割と課題-行政・学校・地域連携の基本構造と役割を中心として」	北海道教育大学教科教育学図書	『子どもと「総合的な学習の時間」』	東京書籍	2000年3月30日	167～180頁	
23	玉井康之	「コミュニティの活性化と生涯学習-心と心の結びつきと地域教育経営-」	日本教育経営学会編	『生涯学習社会における教育経営』	玉川大学出版部	2000年12月20日	48～67頁	
24	玉井康之	「地域環境教育の構造と社会教育	鈴木敏正・伊藤	『地域を創る学びIV 環境保全	北樹出版	2001年10	161～188頁	

		行政の役割」	俊和編	から地域創造へ』		月 15 日		
25	玉井康之	「地域と共に教育を支える」	日本教師教育学会編	『講座教師教育学第 1 巻 教師とは-教師の役割と専門性を深める』	学文社	2002 年 10 月 10 日	79～93 頁	
26	玉井康之	「辺境地域としての北海道浜中町の環境教育実践の構造-学校教育と社会教育とまちづくりの関連の構造」	神田嘉延編著	『環境問題と地域の自立的発展』	高文堂出版社	2004 年 2 月 10 日	477～512 頁	
27	玉井康之	「明治中期の地域別就学率の推移と地域編成」	森元辰昭・葛西大和編	『地方史研究の可能性』	西日本法規出版	2004 年 4 月 12 日	362～384 頁	
28	玉井康之	「学校支援ボランティアを生かした総合的な学習の時間」	佐藤晴雄編	『学校支援ボランティアとつくる特色ある学校』	教育出版	2005 年 2 月 25 日	73～75 頁	
29	玉井康之	「教職員の人事考課をどう活用するか」	高階玲治編	『学校の評価・自己点検マニュアル』追録第 5・6 合併号	ぎょうせい	2006 年 7 月 25 日	1607～1619-4 頁	
30	玉井康之	「保護者の学びと学校づくり」	長澤成次編	『教師教育シリーズ 6 巻・社会教育』	学文社	2010 年 4 月 10 日	54～69 頁	
31	玉井康之	「学校・家庭・地域の連携と生活指導」	住田正樹編	『子どもと地域社会(子ども社会シリーズ第 4 巻)』	学文社	2010 年 5 月 15 日	160～170 頁	
32	玉井康之	「学校の小規模化に伴う経営課題と学校マネジメント」	小松郁夫編	『“新しい公共”型学校づくり』(学校管理職の経営課題シリーズ第 4 巻)	ぎょうせい	2011 年 10 月 20 日	117～133 頁	